

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2025~2026年度

RIテーマ よいことのために手をとりあおう

地区運営方針 ローターで善の循環を

糸魚川RCテーマ みんなでよい活動しよう



週報

糸魚川

2026.4.2
第3073例会
No.35

◆会 長 赤星賢二 ◆クラブ会報雑誌 長谷川淳一
◆例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
◆例 会 日 毎週木曜日 12:30~13:30
◆創 立 1960年9月10日 ◆承認 1960年10月12日
◆事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
◆糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
◆第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

本日のプログラム

- ・点 鐘
- ・国 家 君が代
- ・四つのテスト
- ・会 歌 我らの生業
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- 親睦委員(結婚記念日・誕生日祝)
- ニコニコ箱担当委員
- その他委員会
- ・ゲスト紹介
- ゲスト卓話
- おまんた祭り 実行委員長 齊藤 伸一 様
- 事務局長 松澤 克矢 様
- テーマ「おまんた祭り50周年に向けて」
- ・点 鐘

本日のお客様

おまんた祭り 実行委員長 齊藤 伸一 様
事務局長 松澤 克矢 様

次回例会プログラム

◇4月9日(木)
ジョイワークてらまち 石井 健一 様
テーマ「未定」

出席報告

◆3月26日(木) 18名

親睦委員会

◇4月誕生日(2名)

10日 杉森 学君 21日 猪又 一義君

◇4月結婚記念日(4名)

1日 齊藤直文君 13日 長谷川淳一君
12日 猪又一義君 24日 杉森 学君

幹事報告

◆3月26日(木)第10回定例理事会がヒスイ王国館にて開催されました。出席者 13名

議題

1. 会員増強について
2. 4月16日例会について
3. 4月のプログラムについて
4. 十日町ロータリークラブ70周年記念式典について
5. 「糸魚川元気花火の会」通常総会開催案内について
6. 「糸魚川元気☆こどもの日花火2026」協賛について
7. 令和8年度「糸魚川元気花火の会」後援について
8. 第2回IFAR ジャパン大会青森五所川原開催2026について
9. 第36回糸魚川ロータリークラブ旗争奪少年野球大会開催について
10. 春日部南RCとの交流事業について
11. 草刈り保険について
12. 第7分区親睦ゴルフについて
13. その他

◆3月28日(土)南魚沼市民会館にて2026-27年度
会長エレクトラニングセミナーが開催されました。
出席者 平野君、歌川君、赤星君、斉藤君

◆3月31日(火)長岡市社会福祉センター「トモシア」
にて第4回地区ラーニング委員会が開催されました。
参加者 松木君

◇吉田RC創立40周年記念式典・祝賀会開催案内
日時 4月11日(土)
受付 12:00～
記念式典 13:00～13:40
講談 13:50～14:30
祝賀会 14:45～16:45
会場 燕三条ワシントンホテル
参加者 赤星君、岡島君

◇地区補助金審査会開催案内
日時 4月15日(水)
会場 ホテルイタリア軒
参加者 佐藤君、岩崎君

◇第7分区新旧クラブ会長幹事会開催案内
日時 4月16日(木)
受付 18:10～
会議 18:40～19:30
懇親会 19:30～21:00
会場 膳処くろひめ
参加者 小田島君、赤星君、岡島君、平野君、
歌川君

◇三条北RC創立40周年記念式典・祝賀会開催案内
日時 4月18日(土)
登録受付 12:30～13:30
記念式典 13:30～14:30
記念公演 15:00～15:10
祝賀会 15:20～17:30
会場 ジオ・ワールド ビップ
参加者 赤星君、岡島君

◆中央RCコーナー

4月3日(金) 会員卓話

廣瀬 明宣 君 「私とロータリークラブ」

ニコニコ箱 3月26日 *****

赤星 賢二君 郡山様、本日卓話ありがとうございます。

平野 嘉生君 お誕生日プレゼントをいただきました。ありがとうございます。

大島 證道君 寺行持の涅槃会、春彼岸中日会も無事終わりました。

3月26日の卓話 *****

フォッサマグナミュージアム

学芸員 郡山 鈴夏 様

「ジオパーク的な地域の見方-食編-」



本日は「大地と食のつながり」についてお話しします。

まず、新潟が米どころである理由についてです。お米づくりには平地と水が必要ですが、それだけでなく、水をためやすい柔らかい地質が重要です。新潟には新しい地層が広く分布しており、さらに山に積もった雪が春に解けて豊富な水をもたらします。こうした地形・地質・気候の条件がそろうことで、新潟は米づくりに適した地域となっています。

次に、食文化の違いについてです。日本海側は冬に低温多湿となるため、魚を発酵させる「へしこ」や麴漬けなどの保存方法が発達しました。一方、太平洋側は乾燥した気候を活かして干物文化が広がっています。このように、同じ保存食でも気候によって方法が異なります。

また、水の違いも食に大きく関わっています。水は通る地質によってミネラルの量が変わり、軟水や硬水といった違いが生まれます。軟水は昆布だしなど和食に適し、硬水は肉の煮込み料理に向いています。糸魚川市内でも水質に違いがあり、それが料理や味の違いにつながっています。

さらに、糸魚川の特徴として重要なのが糸魚川静岡構造線の存在です。この断層により東西で地質が大きく異なり、同じ場所でも水の性質が変わるといった特徴があります。

海についても、糸魚川は陸からすぐに深海へとつながる地形をしているため、深海魚を近い距離で漁獲できます。その結果、新鮮で多様な魚が手に入る環境となっています。

このように、地域の食の背景には必ず地形や地質、気候といった大地の特徴があります。「美味しい」という結果の裏には理由があり、それを理解することで地域の魅力をより深く知ることができます。また、海は急に深くなる地形のため、深海魚を近くで漁獲でき、新鮮な魚が手に入ります。

このように、食の背景には必ず大地の特徴があり、「なぜ美味しいのか」は地形や地質から説明できます。こうしたつながりを考えることが、地域の魅力を深く理解することにつながります。

◆個人寄付 3月26日 (3名 11,000円)

氏名	スマイル	R財団	米山財団
赤星 賢二君	1,000	1,000	1,000
平野 嘉生君	1,000	1,000	1,000
大島 證道君	1,500	2,000	1,500
合計	3,500	4,000	3,500